

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	環境保全推進事業(No.47)					
予算等事業名	環境保全推進事業							
目的	二宮町の自然、社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組むため、環境基本計画の進捗状況等を把握、評価し、計画を推進する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の運営 ・墓地検討 							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		環境審議会会長(講師)の委嘱切換えに伴い報償費(講師謝礼)の減額を検討することが可能。ただし、30年度は後期実施計画の策定に伴う開催回数が増により一時的に増加。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		環境基本計画進捗状況管理のデータベース化と評価方法の標準化による効率化を検討することが可能。			

中間 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					A
	【説明】 環境基本計画は中期実施計画において、事業が精査され一部事業を統廃合するなど効率化が図られている。 墓地の経営許可等の権限移譲については、移譲に伴う条例化に向けた準備を進めている。					

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	美化推進・動植物保全事業(No.48)		
予算等事業名	美化推進事業				
目的	生物多様性の保全のため、環境意識の高揚を図ることを目的としたゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図る。住環境向上のため有害鳥獣対策の実施及び狂犬病予防注射の促進を行う。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミゼロキャンペーンの実施 ・美化財団負担金(海岸清掃) ・美化活動団体への補助 				
根拠法令・条例等	二宮町環境基本条例 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	海岸ごみゼロキャンペーンは、傷害保険料等の必要最低限の費用で実施しているため。また、美化財団負担金は、国庫補助の確保が例年困難であるため。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	キャンペーン期日に各地区で地域美化清掃を一斉に行う等、効率化を図っているため。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 継続的な海岸ごみゼロキャンペーンの実施により、住民の環境に対する意識の高揚が図られている。また、葛川や地域美化清掃の実施により、町の美化が推進されている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	美化推進・動植物保全事業(No.48)		
予算等事業名	動物の保護管理事業				
目的	生物多様性の保全のため、環境意識の高揚を図ることを目的としたゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図る。住環境向上のため有害鳥獣対策の実施及び狂犬病予防注射の促進を行う。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射の実施及び促進 ・有害鳥獣運搬処理 ・害虫対策 				
根拠法令・条例等	狂犬病予防法 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 犬の登録事務手続き等に関する規則				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		狂犬病予防集合注射の開催日数の削減により臨時雇賃金の減額を検討可能。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		狂犬病予防法など法律に基づく事業を実施しているため、効率化は困難。また、有害鳥獣による農作物等の被害の増加により捕獲頭数が増加傾向にあるため。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 狂犬病予防注射促進や有害鳥獣運搬処理により、環境衛生の向上や農作物被害の防止が図られている。 狂犬病予防注射の接種率が減少傾向にあるため、引続き、普及啓発を行う。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	美化推進・動植物保全事業 (No.48)				
予算等事業名	公害防止対策事業							
目的	生物多様性の保全のため、環境意識の高揚を図ることを目的としたゴミゼロキャンペーンを実施する。 また町の中心を流れる葛川の美化を図る。 住環境向上のため有害鳥獣対策の実施及び狂犬病予防注射の促進を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水質測定 ・地域要望環境測定 							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		今年度は、県が実施する調査結果から河川水質の状況を把握できるため、中村川の調査を減しましたが、これ以上の経費削減は困難である。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		基本的に、定点での同一調査項目を継続的に測定しないと環境状況の変化を把握できないため。						

中間 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 継続的な河川水質調査による測定により、町の環境状況を把握できている。 29年は4回の実施予定のうち2回を計画通りに実施して。							

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	ごみ処理広域化推進事業(No.49)					
予算等事業名	ごみ処理広域化推進事業							
目的	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化を推進するため、他市町の広域施設に係る費用負担を行う。また、ウッドチップセンターの施設運営を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルセンター整備事業負担 ・広域ごみ処理費負担 							
根拠法令・条例等	一般廃棄物処理に係る事務事業の広域化に関する基本協定 ごみ焼却施設の整備運営に関する事務の事務委託に関する規約							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	事務委託に伴う他市町への負担金のため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	広域処理の開始や施設稼働に伴い協議を要する案件は減少してきているが、現在、整備中のリサイクルセンターや、運用開始に伴う新たな課題対応には必要最低限の調整が必要となるため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 広域ブロックによるごみ処理広域化により、循環型社会形成に向けた各種施設整備運営や処理体制が図られている。		

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	ごみ処理広域化推進事業(No.49)		
予算等事業名	ウッドチップセンター運営事業				
目的	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化を推進するため、他市町の広域施設に係る費用負担を行う。また、ウッドチップセンターの施設運営を行う。				
内容	・施設運営				
根拠法令・条例等	一般廃棄物処理に係る事務事業の広域化に関する基本協定 剪定枝資源化施設の整備運営に関する事務の事務委託に関する規約				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		15年間の長期契約で運営委託しているため、削減は困難。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		現時点で出来る限り効率化を図っており、効率化は難しい。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 SPCによる施設運営が適正に行われており、1市2町から排出される剪定枝の資源化が図られている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	不法投棄防止事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄パトロールの実施 ・不法投棄処分 ・不法投棄防止用看板設置 							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	必要最低限の実施回数で臨時職員を雇用し対応するだけでなく、職員が現場確認、回収等も行っているため。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	臨時雇を雇用してのパトロール回数を必要最低限に絞り実施している他、不法投棄の状況によっては、職員による現場確認、回収等が必要となる状況もあるため。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 不法投棄物の防止啓発及び撤去により、生活環境の保全が図られている。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化推進協議会の開催 ・地域環境推進員会議の開催 ・廃食用油石けんづくり ・指定ごみ袋購入 ・ごみ減量化施策の啓発等 ・大型生ごみ処理機維持管理 ・生ごみ処理機の普及啓発(補助の実施) 							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理由	29年度に製品保証期間を終える大型生ごみ処理機(エクレール二宮)の廃止により、維持に係る経費の削減を検討できる。ただし、廃止翌年は、撤去費用等が発生します。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理由	地域環境推進委員を通しての回覧の配布により、各種の啓発に係る事務の効率化を実施している。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 各種の普及啓発により、ごみの減量化及び資源の再利用化に向けた促進が図られている。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	一般廃棄物処理事務事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・処理券販売等 ・収集カレンダー等の印刷 ・カラスネット配布 ・ごみ置場の管理 ・町村清掃行政協議会(会議、研修) 							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					
一般廃棄物を処理するために必要な事務に係る費用であるため。					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					
一般廃棄物を処理するために必要な事務であるため。					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					A
	【説明】 一般廃棄物処理事務事業の実施により、廃棄物の適正な処理が図られている。					

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	じん芥収集事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	・じん芥収集委託(廃棄物の収集)							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	入札に伴う設計変更により経費等の削減が行われました。また、長期契約を行っているため経費の削減は行えません。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	収集時における作業員の対応マニュアル化等により、統一的な対応や事務を効率化していますが、今後も見直し等を行っていき、効率化に努めます。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 一般廃棄物の確実な収集運搬により、廃棄物の適正な処理が図られている。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	じん芥運搬処理事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	・じん芥運搬処理委託(廃棄物の運搬・処理)							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		ごみ処理広域化により削減される見込みである。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		ごみ処理広域化により効率的なごみの運搬・処理ができる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 ごみ処理広域化によりごみの適切かつ効率的な処理処分ができています。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)		
予算等事業名	じん芥受入分別事業				
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。				
内容	・持ち込みごみ等の分別作業等委託(分別・搬出)				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		安全かつ適正に作業を実施するためには、現状維持が必要。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		安全かつ適正に作業を実施しており、これ以上の効率化は困難。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 ごみ処理広域化による収集区分の変更後も廃棄物の適正な処理が図られている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	し尿処理事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理施設の維持管理 ・施設改修実施計画及び実施設計委託 							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、神奈川県生活環境の保全条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	点検や補修を定期的に行うことにより、費用を抑えて維持管理をしている。また、大規模改修を控え、必要最小限の補修にとどめ、施設の運転においても節電を意識し、費用を抑えている。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	減少傾向にあるし尿汚泥に対し、効率的な運搬・処理を検討していく。また、改修計画については、現状に即した方法とし、効率化も含め検討する。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<p>【説明】</p> <p>し尿処理は放流水の排出基準に適合しており適切に管理がなされている。また施設の改修については、現状に即した計画の策定が進んでいる。</p>	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)		
予算等事業名	ごみ積替施設の維持管理				
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ごみ積替施設の維持管理 可燃ごみの外部搬出 				
根拠法令・条例等	—				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		安全・適正な事業実施のためには現状維持が必要。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		効率を考えて事業を実施しているが、現状以上は難しい。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 ごみ処理広域化による収集区分の変更後も廃棄物の適正な処理が図られている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	3R・3S推進事業(No.50)					
予算等事業名	最終処分場施設運営事業							
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水質・ダイオキシン類の測定 ・浸出水処理施設の維持管理 							
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、神奈川県生活環境の保全条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		適正な最終処分場の維持管理のためには、現状維持が必要。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		今まで以上の効率化は難しいが、引き続き効率化も含めた維持管理を行う。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 最終処分場は放流水の排出基準に適合しており適切に管理がなされている。		

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	地球環境保全事業(No.51)		
予算等事業名	環境保全推進事業				
目的	低炭素社会の実現をめざし、省エネルギー・自然エネルギーの推進を図るため、啓発や支援を行う。また、二宮町の特徴である空気が綺麗で風通しの良い快適な生活環境向上を図るため騒音大気測定や地域美化清掃の推進を図る。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習 ・緑のカーテン ・太陽光補助金(住宅リフォーム助成金にて対応) ・喫煙マナーの啓発 				
根拠法令・条例等	環境基本法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、二宮町環境基本条例				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		地球温暖化防止に向けた取組みは、グリーンカーテンの消耗品等の必要最低限の費用で実施しているため。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		県地球温暖化防止活動推進員を始めとした各種の環境団体や企業の協力により、普及啓発に係る事務を効率化している。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 地球温暖化防止活動推進員や地域環境推進員との協働により生活環境の保全が図られている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	地球環境保全事業(No.51)		
予算等事業名	公害防止対策事業				
目的	低炭素社会の実現をめざし、省エネルギー・自然エネルギーの推進を図るため、啓発や支援を行う。また、二宮町の特徴である空気が綺麗で風通しの良い快適な生活環境向上を図るため騒音測定や地域美化清掃の推進を図る。				
内容	・騒音測定				
根拠法令・条例等	環境基本法、騒音規制法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、二宮町環境基本条例				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	今年度、一酸化炭素測定につきましては、例年基準値を下回っていたため廃止しましたが、騒音に関しては基本的に定点での同一調査項目を継続的に測定しないと環境状況の変化を把握できないため。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	基本的に定点での同一調査項目を継続的に測定しないと環境状況の変化を把握できないため。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 継続的な騒音測定により、町の環境状況を把握できている。 29年度は1月に騒音測定を実施する予定である。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり		
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	地球環境保全事業(No.51)		
予算等事業名	美化推進事業				
目的	低炭素社会の実現をめざし、省エネルギー・自然エネルギーの推進を図るため、啓発や支援を行う。また、二宮町の特徴である空気が綺麗で風通しの良い快適な生活環境向上を図るため騒音大気測定や地域美化清掃の推進を図る。				
内容	・地域美化清掃の実施				
根拠法令・条例等	二宮町環境基本条例				
体制	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	地域美化清掃は、傷害保険料やごみ袋等の必要最低限の費用で実施しているため。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	地区、団体、個人による清掃活動であり、協議書提出の際のごみ袋の配布や排出時の調整に最低限の手続きが必要となるため。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】	地域美化清掃の支援により、生活環境向上が図られている。			

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	地球環境保全事業(No.51)					
予算等事業名	再生可能エネルギー導入の検討							
目的	低炭素社会の実現をめざし、省エネルギー・自然エネルギーの推進を図るため、啓発や支援を行う。また、二宮町の特徴である空気が綺麗で風通しの良い快適な生活環境向上を図るため騒音大気測定や地域美化清掃の推進を図る。							
内容	・再生可能エネルギー導入促進支援策の検討							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	今年度で支援策の検討を終えるので、報償費(委員会等出席報償費・講師謝礼)の削減が可能。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	支援策の検討結果に基づき、支援策の実現、並びにその業務が新たに生じるため		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 温暖化対策事業化実施研究会により、民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進に向けた支援策を検討することができている。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・維持・管理							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		日々において省エネを意識し、費用を抑えて維持管理している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		施設の維持に必要な最低限の管理運営を行っている。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 施設は老朽化しているが管理運営は適切に実施できている。		

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市部 生活環境課					
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり					
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	広域行政推進事業(No.91)					
予算等事業名	ごみ処理広域化の推進							
目的	広域的な行政施策や取組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。							
内容	・ごみ処理広域化実施計画の推進							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		ごみ処理広域化の推進にあたり、事務局要員として平塚市への出向職員が必要ですが、繁忙期は2名で対応いたしますが、それ以外は二宮町・大磯町職員の輪番制で検討できる。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		広域処理の開始や施設稼働に伴い協議を要する案件は減少してきているが、現在、整備中のリサイクルセンターや、運用開始に伴う対応には必要最低限の調整が必要となるため。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 広域ブロックによるごみ処理広域化により、広域的な行政施策や行政課題等に対する情報交換及び連絡調整が図られている。							